くも合戦

かじき 広報

題字　宇都宮町長

人口・世帯の動き
（平成２年４月１日現在）

総人口23,571人（－298）	出生　16人
男　11,071人（－171）	死亡　16人
女　12,500人（－127）	転入 279人
世帯数 8,225　（－ 96）	転出 577人

●（　）内は前月との比較●

豪快な滝の飛沫に吸いこまれそう……

〝龍門滝〟

『日本の滝一〇〇選』に選定される！

荘厳で、怒涛の如く舞い上がる飛沫（しぶき）の瀑布（ばくふ）は、瞬時人間のあらゆる機能を停止させ、大自然の持つ神秘の深淵（しんえん）に引きずりこんでしまう――。

龍門滝が『日本の滝一〇〇選』に選定され四月二十八日、富山県立山町で開催された選定証授与式で、宇都宮町長に選定証が授与されました。

この栄誉は、龍門滝の自然が、そのまま残されているのを評価されたもので、これを機会に自然保護を図り、観光地として全国にアピールしましょう。

今月のページ

●奥田自治大臣が来町…2ページ　●椋鳩十文学記念館開館…3ページ　●新しい行政連絡員…4ページ　●桶原地区に水が…5ページ　●まちの話題……6～7ページ　カメラルポ…8～9ページ　●表彰・一日郵便局長…10ページ　●文芸・在宅医…11ページ　●おしらせ…12ページ

平成２年 5 月号

●No. 427　発行 加治木町・編集 総務課 ☎ 62－2111●

『椋鳩十文学記念館』を視察

奥田自治大臣が称賛

ふるさと創生事業視察のため、鹿児島を訪れた奥田自治大臣が四月十四日、加治木町の「椋鳩十文学記念館」を視察されました。

奥田自治大臣は、木をふんだんに使い、町独自の工夫をこらした施設や復元された故・椋鳩十先生の書斎、「椋鳩十の生涯」のビデオなどを熱心にご覧になった後、宇都宮町長に「立派なアイデァで大変素晴らしいものです。大きな賞状をあげないといけませんね」と称賛の言葉をかけられました。

また、ふるさと創生資金の意義ある活用に満足気の様子でした。

「すばらしい施設ですね」

椋鳩十文学記念館

お礼を述べる宇都宮町長

加治木中学校を視察

県教育長が加治木町を訪問

教育の現場視察第一弾に

このほど鹿児島県教育長に就任された大田務教育長が、〝教育の現場を生で見てみたい〟と、視察第一弾として四月十六日「教育と文化の町」加治木町を選定し、加治木中学校と加治木小学校を訪問されました。

加治木中学校では、授業風景や校舎の施設設備などをご覧になった後、季節の花の香る校長室で、姶良教育事務所長や乙須町教育長などと懇談されました。

新名主校長の学校概要や教育指導などの説明に対し、大田県教育長が、「加治木町は、姶良地区の政治経済の中心ですが、都市化に対する生徒へのへい害はありませんか」と、質問。乙須町教育長が「加治木の子供は素直な子供で、そうしたへい害はありません」と答えていました。

「移動入浴車」を町に寄贈

寝たきりのお年寄りに朗報！

〝自分でお風呂に入れない、寝たきりのお年寄りや重度の障害者のために役立てて〟と四月十日、毎日新聞西部社会事業団から町に「移動入浴車」が贈られました。

贈呈式は、役場中庭で行われ、事業団副理事長の白根邦男さんから、宇都宮町長に〝目録とキー〟が手渡されました。

宇都宮町長は「在宅福祉サービスの充実につながり、寝たきりのお年寄りの方々に喜んでもらえます」とお礼の言葉を述べました。

町では現在、デイ・サービス事業（加治木望岳園に委託）で入浴サービスを実施していますが、このサービスを利用できない重度の寝たきりのお年寄りがいらっしゃいます。

今後は、このような方を対象に「移動入浴車」を活用し、各家庭を回りお世話する〝巡回入浴サービス〟を実施していく予定です。

浴槽は軽るいです

6月16日(土)開館

町民に無料公開

▽6月17日～19日△

椋鳩十文学記念館では、開館に向けての準備を進めていますが、いよいよ六月十六日(土)の開館と決まりました。

このため同館では開館を記念して、町民の皆様方に無料で観覧していただくことにしました。

この機会に皆様方の多数の御観覧をお待ちしています。

○公開期間　6月17日(日)から19日(火)まで（3日間）

○観覧時間　毎日午前9時から午後5時まで

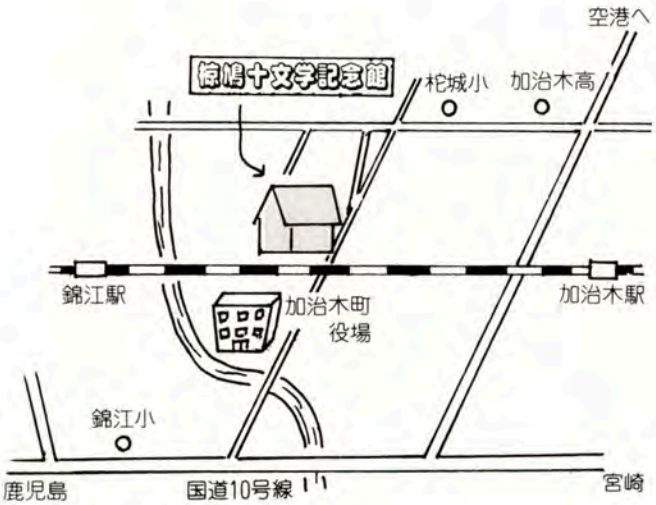
○入館料　無料

なお、平日の入館料は次のとおりです。

○大人（高校生以上）三百円

○小人（小・中学生）二百円

○団体（十五人以上、一人につき）大人二百五十円、小人百円



お願い

椋鳩十文学記念館では，ただいま本のご寄贈をお願いしています。

自由の館では，数多くの本をそろえていますが，まだ充分ではありません。子供たちにいろいろな本と出会ってもらうため，古くてもかまいません。

〝とてもよいお話しだった〟〝子供が小さいころのもの〟など**ご家庭で眠っている児童向け図書が**ありましたらぜひご連絡下さい。おまちしています。

連絡先：椋鳩十文学記念館準備室
☎ ⑥2－4800

今年もよろしくお願いします

行政連絡員辞令交付式

町民と行政の橋わたしをお願いする行政連絡委員百十七人の辞令交付式が四月二十五日、福祉センターで行われ、毛上の篠崎秋明さんに、宇都宮町長から辞令が手渡されました。

町政及び自治会発展のため、よろしくお願いいたします。

辞令を受ける篠崎秋明さん

◀新しい行政連絡員さん（世帯数は四月一日現在）

地区名	自治会名	行政連絡員名	世帯数
城東第１	日木山黒川	徳永伊住	43
	日木山団地	撰正敦	56
	吉原	左近充純親	257
（世帯数）	東吉原	森尾榮一	65
659	下新道	藤井節夫	140
	里ノ上	木佐貫エミ子	18
	里ノ下	村橋幸生	80
城東第２	天神	上村直	146
	東諏訪	老谷弘	123
（世帯数）	西諏訪	市井川利男	117
456	小陣	米増實	70
城南	新町	日高勝	40
	垂ノ口	石原祥子	120
	江湖	松田ハル子	20
（世帯数）	上浜	松田弘治	100
840	中浜	亀井政夫	63
	下浜	川野敦朗	118
	蒲生田１	厚地一徳	7
	蒲生田２	山元のり子	17
	蒲生田２	福元千恵	17
	今町	竹内親男	113
	毘沙門	村田譲	25
	西町	尾上辰二	25
	端山	桐原廣志	110
	反土黒川	岩崎正	82
城西	柳田	今中清一郎	196
	於里	川畑義巳	130
（世帯数）	新富団地	豊田幸男	43
635	田中	中山澄雄	173
	竹下	平野正男	93
城北	西反土前	東脇正徳	33
	西反土後	今薗義治	68
	萩原	鎌田睦	210
（世帯数）	城	城内繁喜	10
889	口ノ町	池田輝美	40
	内原田	南薗義久	112
	札立	池上一一	149
	川原	原口正	23
	蔵王団地１	向井田達夫	77
	蔵王団地２	上別府みや子	77
	蔵王団地３	前田昭信	50
	棚目	今薗義哉	40
中野	中野	有村秋雄	41
	楠原	遠矢美晴	25
（世帯数）	弓削	冨永千秋	10
101	長谷	上村親	25
錦江第１	向江町	下楠薗久士	76
	東塩入	徳永一男	139
（世帯数）	中塩入	岡山俊夫	59
596	南塩入	廻綾子	85
	西塩入上	中原勇雄	89
	西塩入中	宝蔵義秀	40
	西塩入下	松迫学	108
錦江第２	江口団地	釜崎彰二	68
	西江口団地	崎田昌稔	104
（世帯数）	岩原東	木場政昭	150
643	岩原西	中元邦夫	321
錦江第３	浜村	増田昌弘	110
（世帯数）	須崎	岩下幸夫	243
517	豊町	武田信雄	164

地区名	自治会名	行政連絡員名	世帯数
木田第１	高井田	津崎チエ子	214
（世帯数）	春日団地	山之内正己	128
414	空港団地	高田節夫	72
木田第２	新中	服部良市	80
	西ノ原	松永英雄	55
	楠園	丸岡忍	116
（世帯数）	中福良東	梅木国太	31
569	中福良後	山田民雄	66
	弥勒	平田豊文	110
	上木田	穂森優	111
木田第３	小鳥	徳田正美	145
	赤坂	二見加代子	192
（世帯数）	原ノ門	原口一郎	191
693	中央	楠田俊幸	165
永原	永原	内村由美子	75
	丸岡	榎谷貞則	13
	隈原上	浜田輝男	29
（世帯数）	隈原下	榎谷哲	18
350	市野々	浜田信	5
	上嶽	田中茂樹	26
	下嶽	前畠篤雄	24
	提水流	川床侃	13
	菖蒲谷	山下隆雄	60
	桑迫	今村直行	28
	曲田	岩崎アキ子	15
	桃木野	河野訓	21
	東ヒナバ	坂元満義	9
	西ヒナバ	坂元行春	14
辺川	辺川下	大宮路鶴美	45
	辺川中	汰木重夫	16
（世帯数）	鶴原	山口重雄	25
98	市野	前村松美	12
竜門東元	布越	柿野三郎	47
	井出向	山下一男	22
	高崎	仮屋園勇	13
（世帯数）	岩穴口	小竹原薫	15
181	徳永	野老迫實	18
	小田倉	本松美義	20
	迫上	岩元守	11
	迫下	井上重美	24
	御狩山	仮屋一雄	11
竜門西元	ふもと	中原茂春	13
	毛上	篠崎秋明	73
（世帯数）	茶碗屋	田代中良	26
135	伊部野	前田重夫	23
竜門西浦	石野	藤野国明	17
	鞍掛	迫村秋夫	13
	永山	田ノ上美和	14
（世帯数）	下東木	渋谷春夫	18
128	上東木	南原峰雄	12
	赤谷	地久里薫	18
	西浦西	岩澤正雄	32
	地久里	下津佐藤夫	4
竜門東浦	上川内	川原忠	5
	川内	溝口照司	26
（世帯数）	市来原	内村照夫	48
115	新開	小原豊	15
	宮田ケ平	垣内勝	21

（自治会数　115）　（世帯合計　8,019）

楠原地区に念願の〝水〟が
貴重な水を適切かつ有効に

中野の楠原地区にかんがい用水が引かれ、水を大事に使おうと「楠原畑かん水利用管理組合」の結成式が四月十一日、楠原公民館で行われました。

結成式では、十三塚原土地改良区の第二理事である宇都宮町長から、組合長に選ばれた榎田静雄さんに散水器具一式が貸与され、榎田組合長から九つの班長さんに配布されました。

この水は溝辺町の竹山ダムから横峰山の調整地まで運ばれ加治木、隼人、溝辺の三町の十三塚原台地に給水される極めて『貴重な水』です。

このために、水使用の秩序の適正維持管理を図るため、自主管理する組織が結成されたものです。

地元の人たちは、〝恵みの水〟によりこれからの農業経営が活性化し「〝売れる農産物〟をキャッチフレーズに、畑地だけでなく農家の経済にも潤いをもたらしてくれる」と、喜んでいました。

楠原地区の結成式を終え、市来原地区、西浦地区と合わせて加治木町の十三塚原台地の水利用組合の結成は完了しました。

給水器具の貸与をうける榎田組合長

視覚障害者との交流を
点字講習会を開催

点字が読めますか

〝点字に親しみ、目の不自由な方との交流に役立てよう〟と四月七日から、町身体障害者福祉協議会の視覚部（前田勇一郎会長）主催による「点字の講習会」が町福祉センターで始まりました。

受講者は、視覚障害者二人を含む十五人で、一般参加の森岡絵里さん（柁城小学校六年）は、慣れない手付きで点字板に向かい「穴をあけるのがちょっと難しいけど大変おもしろいわ」と、点字を楽しんでいました。

熱心に点字を打つ女の子

明るい町づくりに資金活用
『簡易保険・郵便年金』資金

教育施設や道路整備など、みんなのまわりで『簡易保険・郵便年金』資金が役立っているのをご存じですか。

町では平成元年度事業として、永原小学校の校舎改築事業、加治木中学校の校舎増築事業、公営住宅（岩原住宅）の建替事業、農産物処理加工センター建設事業などにこの資金の融資を受けています。

これらの施設には、簡易保険・郵便年金の融資施設であることがわかるように表示板が設置されています。

永原小学校

岩原住宅

農産物処理加工センター

TOWN NEWS ●まちの話題

龍門滝をのぼる〝こいのぼり〟

「日本の滝一〇〇選」に選ばれた〝龍門滝〟に、六十匹余りの緋鯉や真鯉のこいのぼりが、おなか一杯に五月の薫風を吸い込んで、元気よく泳いでいます。

これは、高井田の釣り仲間で作っている「高竜会」（会長・津崎正幸、会員十人）が、四月八日にあげたもので、「龍門滝のすばらしさをピー・アールしよう」と五年前から始めたものです。

「高竜会」のあげたこいのぼりが、〝龍門滝〟の栄えある栄誉を祝すかのように、季節感あふれる花を添え、訪れる人の目を楽しませています。

「高竜会」から「みなさんの家庭で不用になった、こいのぼりを提供してください」と、要望がありました。みなさんの温かい御協力をお願いします。

滝をのぼるこいのぼり

「高竜会」が今年も六十匹を

「高竜会」のみなさん

「花子」よ安らかに

大迫建三さんが町に香典を寄贈

町の広報紙や新聞・テレビなどにホットな話題を提供してくれた犬の「花子」が四月一日亡くなり江湖の大迫建三さんが、花子ファンから寄せられた香典を「家族の一員として過ごしてきたので」と四月十六日町に寄贈されました。

犬の「花子」は、大迫建三さん宅に十六年間飼われており、この間、猫の子三匹や野うさぎなどを育てたほか、近所の病弱な方のお見舞いに行ったりするなど、暗いニュースのはんらんする中、多くの〝心温まる話題〟を提供し、私たちの心を和ませてくれました。

人間と動物は、最も近い関係にあり、特に犬は人の愛情がよくわかり「三日飼うと三年はその恩を忘れない」といわれています。

人と人、親と子の絆などが薄くなりつつある今日、「花子」の行いは、私たちに〝愛や思いやりの心〟などをおしえてくれたような気がします。

「花子」に育てられた子猫たちが、その優しさと思いやりの心を受け継ぎ、動物の世界でも広めてくれるといいですネ。

みなさんも動物をかわいがってみませんか。

香典を寄贈する大迫さん

ありし日の「花子」

池田助右衛門翁を偲んで

しめやかに慰霊祭

町が開発を進めている宇曽ノ木滝の上流から二百十八㍍の岩盤を万治二年（一六二九年、四代将軍徳川家綱のころ）から三年八ケ月の月日をかけ、一人で槌と鑿だけで掘り抜き用水路（獺貫疏水）を造った「池田助右衛門翁」の遺徳を偲ぶ慰霊祭が四月十一日、隈姫神社境内で行われました。

これは、木田土地改良区が毎年開催しているもので、参加者は、翁の昔日の業績が、今もなお綿々と木田地区の農業振興に貢献していることに対し深く感謝するとともに翁の遺徳を偲んでいました。

池田助右衛門を守る仁王像

稚アユ一〇〇キロを放流

解禁日には見事な若アユに

元気に育つように……

網掛川内水面漁協（組合長・東一男、組合員七十人）では、今年も釣り人に楽しんでもらおうと四月十六日、稚アユ一〇〇キロを辺川と小山田の上流に放流しました。

辺川地区の小宮路東（組合理事）さんの立会いのもと、辺川と小山田の川岸に放流された稚アユは、キラキラと銀鱗のうろこを輝かせながら、勢いよく泳いで行きました。

六月一日の解禁日には、釣り人を魅了するような、見事な若アユに成長していることでしょう。

（アユ捕りは、鑑札が必要です）

加治木トピック

町立図書館に本を寄贈

加治木ロータークラブ

〝本を読んで知識を深めてください〟と、加治木ロータークラブ（川原吉一会長・会員二十人）が、昭和六十三年につづき町立図書館に『新生・明治の光と影』など一万円相当の本を寄贈し、喜ばれています。

これは、会員が不用品を持ち寄り、四月八日実施したチャリティバザーの収益金の一部を贈ったものです。

ありがとうございました。

贈られた本

カメラ・ルポ

〝加治木町にようこそ〟

町新任教職員就任式

町内の小・中学校に新しく着任された二十六人の先生方を迎え、「町新任教職員就任式」が四月十日、新装なった永原小学校で開催されました。

就任式は、赤や青などのあざやかな色彩を放つステンドグラスを背景にした、異国情緒の雰囲気の中で行われ、乙須教育長が「郷土色豊かな学校づくりに取り組んでいただき、新しい意欲的な息吹きを吹き込んでください」と式辞を述べました。

また、宇都宮町長は「思いやりのある、心豊かなこどもが育つよう御協力をお願いします」と歓迎の言葉を述べました。

この後、恒例になっている特大の『加治木まんじゅう』(普通の六個分・紅白二個)がふるまわれましたが、皆さん〝辛党〟のためか(?)一個食べるのがやっと……。その中で柁城小学校に赴任された八板健一郎先生はペロリと二個とも平らげ、みんなの拍手を受けていました。

ステンドグラスを背景に

まだは入るかなあ

● 新しい先生がた

学校名	職名	氏名	前任校
柁城小	教頭	吉元 俊彦	松山町教委
	教諭	福留 博人	新採
	教諭	八板健一郎	郡山小
	教諭	林 義雄	岐阜県安井小
	教諭	岩松 寛喜	吉田小
	教諭	櫛山弥和子	新採
錦江小	校長	福岡 孝	国分市教委
	教諭	牛野 綾子	新採
竜門小	校長	今吉 晃	扇尾小
	教諭	長吉 昭典	鶴川内小
	養護教諭	徳重 澄子	粟ケ窪小
永原小	校長	保岡健一郎	戸口小
	教諭	有馬 純一	幸田小

学校名	職名	氏名	前任校
加治木小	教頭	相良 元典	出水市教委
	教諭	松元 巌	明和小
	教諭	諏訪原裕子	付属小
加治木中	校長	新名主勝哉	県教育庁学校教育課
	教諭	川原美奈子	新採
	教諭	川口 浩子	新採
	教諭	原田 隆	溝辺中
	教諭	渡邊 綱丸	吉松中
	教諭	安藤 薫	牧園中
	教諭	新田 正明	南界中
	教諭	染川 美佳	新採
	教諭	揃 壽子	帖佐中
	教諭	東 浩	松山中

一番ビリかな？

みんなで食べるとおいしいね

永原小学校で合同給食会

〝みんなで一緒に給食を〟と四月二十三日、乙須教育長と江原学校教育課長を迎え、永原小学校のオープンスペースで、ワイワイ・ガヤガヤと楽しい雰囲気の中、七十一人の全校児童と先生方の〝合同給食会〟が開催されました。

これは、みんなで給食を食べることにより、「連帯感と協調性、さらには下級生への思いやりの心を育てよう」と新装なった校舎を活用し始めたもので、これから毎日続けられます。

素早く食べ終わった上級生たちは、下級生の食べ終わるのが待ち遠しい様子。一年の女の子は「自分の教室で食べるのより楽しくて、給食もおいしいなあ」と、上級生の思いとは反対に、ゆっくりと味をかみしめながら食べていました。

加治木小学校に校旗を

木田大字が寄贈

ありがとうございます

「素晴らしい学校にしてください」と、木田大字から加治木小学校に真新しい高価な校旗が贈られ四月二十三日、その伝達式が同校で行われました。

伝達式では、木田大字区長の岩崎郷二さんから金糸で縁取られた立派な校旗が、箒野守校長に贈られると、全校生徒から一斉に拍手が沸き上がりました。

六年生の白石聡子さんが「立派な校旗をありがとうございました。この校旗に恥じないよう一生懸命頑張ります」と、お礼の言葉を述べました。

りっぱな校旗

ヒラメの稚魚を放流

三万五千匹を錦江湾に

鹿児島湾奥の錦海漁協（加治木・姶良）、錦江漁協（国分・隼人）、福山漁協（福山）の三漁協が四月二十七日、ヒラメの稚魚三万五千匹余りを、それぞれの漁協区に放流しました。

放流された体長約五センチぐらいのヒラメの稚魚たちは、漁師さんたちの見守る中、大型船のあげる波しぶきに、元気良く躍り込んでいきました。

十月ごろには大きく成長するということです。

早く大きくなれよー

たくさんの生徒さんが

オリンピックをめざせ

"サッカー少年"城彰二君

加治木中学校三年生の城彰二君（高井田）が、日本ジュニアユース代表に選ばれました。

これは、千葉県で四月二十六日から三十日まで行われた、代表候補の強化合宿で決まったもので、九州からは中学校、高校を通じてただ一人という"名誉ある代表"です。

この代表選考は、六月十六日から中華台北で開催される、第四回アジアジュニアユース選手大会の第一次予選に向けて、選抜されたものです。

日本代表として、また、オリンピックの選手をめざし頑張ってください。

町民のみなさん、絶大なる声援をよろしくお願いします。

がんばれ城君

豊かな人生を築こう

社会教育学級開校式

自分の趣味を生かして"生涯教育を学ぼう"と四月二十六日、平成二年度社会教育学級の開校式が福祉センターで開催されました。

開校式では、岩山社会教育課長が「現代は、物の豊かさよりも、心の豊かさを求める時代に変わりつつあります。この学級で豊かな人生を築きましょう。」と、あいさつしました。

また、講師の先生方や担当職員が紹介された後、それぞれの学級に分かれ、自己紹介やこれからの日程などを決めました。

この社会教育学級は、高齢者と一般成人に分けられた十四の学級編成で構成され、それぞれの学級が町民のみなさんから親しまれ、定員いっぱいの六百五十八人の多くの生徒を抱える、人気のある学級です。

地域住民の融和と育成に尽力

五人の「行政連絡員」を表彰

表彰状を手に

永年にわたり町政の発展に貢献された五人の方々に、その功績をたたえ四月二十五日、〝町長表彰〟が贈られました。

表彰式は、福祉センターで開催された行政連絡員辞令交付式の席上行われ、宇都宮町長から別府ユキノさんら五人の方々に表彰状が手渡されました。

受賞者は次の方々です。（敬称略）

▽別府ユキノ（新町）十年
▽福薗　國治（川原）九年
▽浜田　忠治（小陣）七年
▽有馬　純明（豊町）六年
▽佐川　茂（新富団地）五年

林町商工会長が一日郵便局長に

第五十七回逓信記念式典

東京＝大阪間に初めて国営による新式郵便業務が開始されたのを記念して、昭和九年から設けられている「逓信記念日」の四月二十日、林敏克町商工会長を『一日郵便局長』に迎え、加治木郵便局で記念式典が行われました。

式典では、郵政事業に御協力いただいている方々や、事業優績者の表彰が行われた後、一日郵便局長の林敏克町商工会長さんが、事務の決裁や局内の視察などを行いました。

林町商工会長が1日郵便局長に

町商工会館で

ごくろうさまでした

納税組合長らを表彰

平成元年度税務表彰式

永年納税組合長を務められた方と高額納税納期内完納者に四月二十三日、平成元年度税務表彰式が福祉センターで行われ、宇都宮町長から表彰状が贈られました。

表彰者は次の方々です。（敬称略）

▽納税組合長
浜田　忠治（小陣）七年
別府ユキノ（新町）七年
有馬　純明（豊町）六年
岩田　一郎（今町）六年
新納　正教（柳田東）四年
坂元　清行（西ヒナバ）三年
▽高額納税納期内完納者
中島　進　▽木山裕継　▽江夏利男　▽岸井清治　▽友利優一

別府ユキノさんらを表彰

「政府に尋問の筋これ有り」

北斗南舟氏の現代錦絵展を開催

「西南の役」を現代錦絵で、東海道五十三次に見立てて描いた、北斗南舟氏（本名・川野努さん四十三歳）の『西南の役五十三景』展が、四月二十四日から三十日までの七日間、町商工会館を会場に開催されました。

開催セレモニーでは、林敏克町商工会長が、「加治木町の諸先輩（町出身者七百名）が、別府晋介率いる特別第六番大隊において、郷土・国家のために大奮闘された遺徳を偲び、また、青少年の皆さんの精神の修養になればと思います」と、あいさつしました。

現代錦絵は、西郷隆盛が『政府に尋問の筋これ有り』と、鹿児島を出立した第一景から、五十三景の『城山の壮絶な最後』までの様子が克明に描かれており、会場を訪れた方々は、北斗南舟氏の錦絵の描き方の手法や、一景一景に書き記された、その戦いの解説などに感心に見入っていました。

ライラック

竜門句会

豌豆の花の夕暮微熱なほ　鶴田　耕
老媼は草に語りて耕しぬ　内田美津代
草餅やつり銭はしる地下売場　中村チヨ子
日を揺りて日がなさやさや竹の秋　白尾　澄子
花影に菩薩の見えて磴半ば　神村　洋子
浦人のなべて同姓若布干す　古江　重美
くれないの耳ばら組に入園す　川﨑　黒兎
筍山母歩きいま日矢あるく　脇本　星浪
葉桜となりて並木のたくましき　高木　正男
春雨に視野とざさるる城下町　竹山　洋子
地の涯に燈台そびえ鳥帰る　加藤　白柳
葱坊主意外に広き寺畑　佐々木かすみ
えご漁の人立つやぐら風光る　柳田　稔
用意されし夫の昼餉の花菜漬　恒吉　斗南

句狂さつま

▼兼題『派手』（はで）　榊　牛尾先生　選

天　派手好ん　頻ん皺ずや　隠されじ　福永さつき
地　唱　惜たれち　いけんもでけん　老化現象
人　年の若け　着っちょい派手な　娘ん下がい小浜礼香
唱　主人い合はせっ　派手作い　田中　楓
唱　若こしちょらんな　捨せらるっち

▼兼題『花見』（はなん）　榊　牛尾先生　選

天　花見の日　親子連れだっ　里戻い　出水円月
唱　唄の踊いの　家内中で弾ん
地　花見酒　貴男も俺も　小原節　山下山桜
唱　心配事どま　なかよな顔で
人　花見じゃち　姥桜ずい　紅ぬ塗っ　福添秋水
唱　おめかすすれば　まだ若けごわんど

（社会教育学級生の作品を紹介します。）

暮らしのワンポイント

血行をよくすることが第一
足の疲れをとる

春の野山を歩くのは楽しいものですが、慣れないハイキングでは足も疲れます。

足の疲れをとるにはまず、足の血行をよくすることです。それには、足の裏のマッサージが効果的です。

靴を脱いで足の裏を特に土踏まずの部分を念入りにマッサージすると、思いのほか早く疲れが解消します。

ジュースの空き瓶や缶を利用するのも一つの方法。瓶や缶を横にして、足の裏で踏みながら転がしてやります。このときも、土踏まずの部分は特に念入りにやります。血行がよくなり、足のだるさや疲れがとれます。

外出から帰って、足の疲れのひどいときは、深めのバケツに少し熱めのお湯を入れて、足のひざあたりまでつけます。お湯の熱さと水圧で、血液の循環が促進され、疲れがとれます。

また、お湯の中に塩を一つまみ入れてやり、足の裏やふくらはぎなどを、手で丁寧にもみほぐしてやると、抹消神経が拡張して疲れをとるのに効果的です。

このように足だけをお湯で温め、疲れをとる方法を「部分浴」といいます。

このほか　お風呂は足の疲れを始め、全身の疲れをとるのにとても効果があります。

やや熱めの四十三度を超すお湯に、ゆっくりとつかりましょう。新陳代謝が高められて、疲れを早くとることができます。

6月の在宅医

※診療時間は、午前9時～午後5時まで（原則として）

※当日の往診並びに緊急以外の受診は，御遠慮下さい。

	在宅医	住所	☎
3日	徳永医院	溝辺町	⑱2302
10日	鬼丸小児科	新生町	⑫0308
17日	松本医院	木田	⑬1911
24日	玉利医院	本町	⑫2328

加治木町役場は 第2・第4土曜日は 休みとなります

6月は9日と23日です。

加治木町役場は、第二・第四土曜日が休みとなりました。

◆休みとなる所
役場庁舎▽学校給食共同調理場
水道課

◆なお、次の所は、今までどおり業務を行います。
小・中学校▽町立幼稚園
町立保育所▽町立図書館
（郷土館を含む。）

●「出生届」「死亡届」「婚姻届」などの受付や、「埋葬許可証」の発行は、従来どおり〝日直〟が行います。

●今まで収入役室で納めていただいた税金、保育料、住宅使用料などの納期が「第二・第四土曜日」に当たるときは、月曜日に納入期限が変更されます。

※詳しくは、総務課にお問い合わせ下さい。

人権擁護委員制度をご存じですか……

六月一日は、人権擁護委員法が施行された日です。

日本が戦後新しく生まれ変わったとき、何よりもまず国民の基本的人権の擁護と人権思想の普及高揚が強く求められ、基本的人権の尊重を基調とした日本国憲法が制定されました。

このような背景の下に、昭和二十三年にまず政令に基づいて人権擁護委員制度が設けられ、翌二十四年六月一日に人権擁護委員法が施行され、国民の基本的人権を擁護し見守る、いわば民間人による人権の番人の機関が誕生したのです。これが「人権擁護委員制度」の始まりです。

全国人権擁護委員連合会は、六月一日を「人権擁護委員の日」と定め、この日を中心として皆さんと共に一層の人権思想の啓発に努めることを申し合わせています。

相談は無料で、秘密は守られます。お気軽に御相談ください。

うぶ声

出生児　保護者
白尾　清春　邦春
山下　仁美　美年
山口　唯　松信
田口　祐矢　幸雄
神宮　舞　洋一
釜　伸弥　伸一
坂口　一生　稔
荒武　彩花　功二
柿元　郁美　昭典
桃木野拓馬　裕一
江口　佑嗣　哲夫
山口さくら　修一
調　厚大　裕次
蓬原　香奈　安文
西郷真理恵　昭男
西郷愛里香　昭男
大薗　智裕　孝三
内村　亮　孝宏
林　由紀子　哲朗
服部　秀美　秀一
堤　彩香　保敏
莚平　翔吾　昌則
瀬崎裕一郎　卓郎
高崎愛佑美　雅信
▽四月二十日までに住民票に記載された分を掲載いたしました。

自治会
萩原　石野
吉原　西塩入中
原ノ門　空港団地
高井田　菖蒲谷
須崎　西江口団地
東諏訪　西江口団地
赤坂　萩原
赤坂　岩原東
赤坂　札立
赤坂　楠園
赤坂　今町
赤坂　赤坂
赤坂　高崎
岩原東

御寄付

香典返しのかわりに御寄付をいただきました。厚くお礼申し上げますとともに、故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人。

＝町社会福祉協議会へ＝
三万円　上浜　永田長吉（妻ミヨコ六〇）
一万円　天神　今井義春（妻　サエ八二）
二万円　中浜　内村忠良（母　チカ八〇）
三万円　西ノ原　高橋　亘（妻ナツエ六七）
二万円　田中　沖　キミ（母　蓮池ミカ七三）
三万円　岩原西　岩下弘明（母　妙子六〇）
五万円　向江町　美坂久恵（妹　文枝五五）
二万円　於里　松崎清蔵（義母　堀　ユイ八八）
二万円　垂ノ口　渋谷美好（妻ハル子七二）

＝町老人クラブ連合会へ＝
一万円　於里　松崎清蔵（義母　堀　ユイ八八）

＝町育英奨学資金へ＝
二万円　西ノ原　高橋　亘（妻ナツエ六七）
二万円　岩原西　岩下弘明（母　妙子六〇）

▽四月二十日までの御寄付を掲載いたしました。（年齢は満年齢）

特別寄付

＝町福祉課へ＝
二万円　笹山虎夫さん（中央）

※「福祉に役立てて」と御寄付をいただきました。ありがとうございました。

記事訂正とおわび

四月号の記事中、誤りがありました。深くおわびし、次のとおり訂正いたします。（敬称略）

▽三ページ「職員異動」中
堅山大支→竪山大支

▽十四ページ「和華松や白松など八種類の松を」中
日本産の「白松」→中国産

▽十七ページ「発車時刻表」中
下り第三便福祉センター前時刻13：01→14：01

無料 人権法律相談

鹿児島地方法務局加治木支局のほか、次の人権養護委員の方々が、自宅でも御相談に応じています。

お気軽に御相談下さい。

秘密は、固く守られます。

宮城俊治　反土一五四七
蔵王団地四七―二B―一四
（☎63―3787）

中摩多美子　反土二七五六
（☎62―2768）

竹下利行　木田一四九
（☎63―1818）